統帥權干犯は歴然

若槻氏の聲明國家を利せず 政治家は特別の關心を要す

海軍豫備將官會議聲明

〔東京十三日發國通〕在京海軍豫後備役將官有志は若槻總裁のロンドン條約聲明に關し昨日午前十時水交社に參集した、出席者有馬良橘、黑井悌次郎、竹下勇各大將以下協議の結果、昨日午後八時左の聲明をなした

所謂ロンドン條約事件の取扱ひに政治家は特別の關心を要す、民政黨首領の聲明は國家を利せず却つて實害を與へる統帥權干犯は歴然である、軍艦は一夜で成らず、一九三〇年以降三年間は絕對的に國防兵力不足である

若槻民政黨總裁

十六日更に所信を披瀝せん

〔東京十三日發國通〕若槻總裁のロンドン條約に關する演說は俄然政界に大センセイシヨンを捲き起したが同總裁はこれに就き十二日民政幹部と協議の結果兩三日腹案を練り來る十六日の黨員懇談會席上更に具体的に所信を述べることになつた

英實業家ローズ氏來京

嘗つては英國駐支公使館書記官を勤め、外交界引退後實業界に入り現在、印、濠、支チヤータード銀行理事及英米煙草會社理事を兼ねてゐるアーチボルト、ローズ氏は英國バルフォア卿の息子ヘンリー、テナント氏を同伴英米煙草會社上海法律顧問バセツト氏に案內され北滿方面を視察し十二日午後着京したが、十三日は午前中に鄭總理張實業總長に面會し、午後は山成中銀副總裁、鷲尾理事と面談更に小磯參謀長にも來京の挨拶をなす所あつた、明十四日は溥儀執政並びに菱刈全權と會見の豫定である、尙一行は建設途上にある新京を見學の上、同日午後離京の筈、因みにローズ氏は太平洋會議へ英國代表として屢々出席し本年もバンフの會議に列席後東京に立寄り齋藤首相等と懇談した人である

高橋藏相の意向

豫算は五相會議を基礎とする

〔東京十三日發國通〕十六日の五相會議の再開を前に政局は緊張してゐるが、高橋藏相は左の意見を有してゐる

五相會議は外交第一で進んでゐるが、外交と云つても軍備の背景を無視出來ない即ち軍備は平和のために必要な事は原則的に意見一致し、唯我主張をどこまで通すか、外國の主張をどこまで認めるかで致し方ない、併し會議が決裂なきことは到底思へない明年豫算は五相會議の決論を基礎とするが決論が得られなければ、別個に豫算を審議する

脱走露人の語る

ソ聯內地獄生活の眞相

〔チチハル十二日發國通〕ソ聯邦が第二次五ケ年產業計畫の實施に萬難を排して努力を拂ひつつあることは衆知の事であり又食糧缺乏して此世乍らの生地獄を呈して居る事も抽象的には傳へられて居るが何分鐵道線以外一歩も踏み出せぬだけに旅行者視察者にもその眞相は判らなかつた、然るに今回帝政時代の下士官にして革命突發當時より革命政府に捕へられソ聯內各地を奴隷の如く引廻されたブイストロフ（四十一歲）なる者が死を賭して黑龍江を泳いで滿洲に逃げ込んで來た十月〇日〇〇に於て〇〇の質問に對し未知の世界とも言ふべきソ聯內の驚く可き五ケ年計畫の過程や死の生活に就き語る處あつた、以下は本人の自供と質問應答の要旨である

一、本人の自供による經歷と逃亡經過

ブイストロフ（本人）は一八九三年サマリヤンスカヤ縣ベーリヤスキに生れ（本年四十一歲）歐州大戰にはブリユセル將軍麾下の第一師團機關銃隊の下士官で四年間墺獨國境方面で働き革命と共に歸鄕し家產を護り安住して居たが富農と見做され且つコルホースに參加せざりしため捕へられ、一九三三年二月まで白海とバルチツク海を聯する運河工事に從事せしめられ右運河完成するや本年五月一千五百名と共に三十日間の貨車旅行をなしチタよりハバロフスク方面の人跡まれなるタムイハに送られ七月まで鐵道施設工事に牛馬の如く追ひ使はれ餘に苦しみに堪へず逃亡、三十一日間徒步にて辛苦を重ねアムールの上流シレンドルに出で衣服を頭に乘せ丸太二本に命を託して江中に飛込み深い霧のためゲ、ペ、ウにも發見されず滿洲側に渡るを得森林中をさまよひ歩いたが江上で白系ロシア汽船あるを發見近よるとロイド目鏡をかけた日本人に遇ひ種々訊問された上寫眞をとられたが更に呼蘭縣に來り縣廳に保護を乞ふたが救助し得ぬと云ふので黑河に行く決心で支那人の處で働いて居た折柄日本人に會つたものである

×

二、逃亡の原因及準備

極東に來てからの食物は粗惡で分量少く飢を滿し得ない、どうせ死ぬなら逃亡して安居出來ると言ふ滿洲に逃亡して見る決心がついた逃亡中の一ケ月間は幸自分が人夫のパンを運ぶ役目だつたので誤魔化して貯へて居たもので十一日間を凌ぎ其後は木耳を食して居た、妻子は何處に居るか全く消息不明である

×

三、白海バルチツク海聯絡運河に就て

白海とバルチツク海を結ぶ運河は一九三一年工事を始め二ケ年で完成した、輕裝の軍艦なら自由に通れる程である、作業は誠に苦しく山越へ野越へ一日に二三十人も死亡した事もあるが之は食物の不足と寒氣のためであると人夫の多くが捕へられたインテリやブルジユアで身体が弱かつたからだ

×

四、タ、ムイハ附近の鐵道に就て

運河工事が進むと同時にシベリヤに送られチタとハバロフスクの中間トリカヴヘルへイと云ふ驛（チタから百露里位いと思ふ）に下車直ちに曠野に引出され鐵道敷設工事に從事した右はタムイハからオホツク海に出るのだとの事だ一月迄に二百露里を建設せよと命せられたが嘘言であるかも知れぬ、自分は軍用鐵道だと思つて居る通過地は白樺と松林のみで全くの原野だ自分が到着した時は五露里完成し現在では五十露里出來上つて居る、メルチージム驛で聞いたら二千四百露里を作る計畫だと云ふて居た、人夫は點々と各地に分れて作業して居るらしい、自分達の處には一千二百人許り居りユダヤ人の監督をうけて居た主任はベルモンと名乘るユダヤ人であつた、自分は七月迄働き遂に逃亡したものだ

×

五、極東の現狀

アムームを渡つた時ゲ、ペ、ウは監視して居たが自分が身を隱して居るので其の數は判らぬ三十日間の逃亡中の經驗では滿洲側より餘程道路が完成されて居る、滿洲事變以來極東方面に軍隊は非常に增加して居り殊にイルクーツク以東に多いのは自分が目擊した處だ

×

六、日露戰爭說に就て

ソ聯では最も恐ろしいのは日本だと稱して居る幹部は日本との戰鬪に必勝出來ぬと考へて居り殊に戰爭となれば國民を怖れて居る（戰爭により內亂勃發の意味）新敎育をうけた連中は日本恐るるに足らずと云ふて居るが勇猛なコサツクは革命に反對したと言ふので分散勞働せしめて居るので、軍隊には居ないからソ聯の軍隊は夫程強くあるまいと考へて居る

×

七、白系に關する感情

白系は元來富貴權門の子弟で革命でメチヤメチヤにせられ彼等の恨は骨髓に徹して居る事を赤系は知悉して居るだけに白系を壓迫し自己防衛をなすのだ

×

八、國內狀況

人民が政府の惡口を言へば十ケ年の禁錮に處せられる勞働者農民の生活は想像以上苦しい此世ながらの地獄だ、食料配給はコルホース組織で自分の働き高に應じてくれるが金あるものは不當に待遇し財なく働く者のみ食料をくれる、世間で云ふ商人と云ふものはソ聯には存在しないのだ、工場勞働者は一日二フントのパンを與れる洋服は一年に一着だ牛乳も肉類も缺亡し、小兒は生育甚だ惡く幹部だけが贅澤な生活し他は息を吸ふて居るのみだ

密偵制度が非常に行渡つて居る人を見れば密偵と見てよい程で彼等は勞働者より好生活をして居る

×

九、內亂に就て

呪ひに滿ちて居るソ聯が外國と戰爭したら必らず內亂が起る、ペトログラード、チタ等に反亂が起きたが何れも鎭壓された目下婦女子まで壓迫されて居る奴隷の如く働かせられる自分が大勢を知つて居るのは不審かも知れぬが惡事千里を走る例だ、交通は出來ぬが眞面目に働いて居る樣にすると妻が會いに來る事は出來る、其際妻から種々聞くのだ妻の汽車賃は大体二十留位ならば小麥一袋で乘せてくれる、一定の場所に一週間乃至十日間監視を受け乍ら妻と同居する生活を想像してくれ

新聞は犯人以外に讀ましてくれるが政府に都合のよい事につくこと許りだ

×

十、滿洲事變と滿洲國の出現に就て

日本は甘く滿洲を占領したと云つて居り厄介な隣國だと云ふて居る夫れで萬一の場合に備へる爲め軍備を進めると共に日露戰には支那を參加せしむるため全力を傾注して居るが具体的には知らぬ云々

シヤムの反乱 國都に迫る

〔バンコツク十二日發國通〕十二日シャムに起つた反亂の總帥は王族の一人でボバレジ殿下といひ既に飛行場を占領し國都バンコツクに向け進擊中であるが反軍中には地方の土民軍も含まれて居りはやくもバンコツク近郊に於て戰鬪が開始されて居る、皇帝、皇后兩陛下は目下フアヒン離宮に御滯在中であるが政府は反亂を鎭壓すると共に外國人の生命財產は飽く迄保障する旨聲明した

日本空輸夜間飛行實施で

遞信省航空爲替創設

〔東京十三日發國通〕日本空輸會社では夜間飛行の實施と共に晝間の定期旅客輸送を一往復だけ廢止し、夜の郵便飛行に全力を注ぐ事となつたので遞信當局と協議の上近く航空爲替といふ新制度を設け夜間飛行實施と同時に開業することになつた航空爲替は午後四時迄郵便局へ振出すと同夜出發の郵便飛行機に積み即夜大阪着と同時に受取人へ速達で通知票を出す、この通知票を持參しただけで翌朝拂渡を受ける事が出來る仕組である これ迄大連の樣な遠距離へ東京から爲替を送る場合に一週間位かゝつたのが此制度では三日目の朝には大連で手に入る譯で、料金も殆んど普通航空郵便と變らぬと

第六次日印會商

依然意見一致を見ず

〔シムラ十二日發國通〕第六次の日印會商は十二日午前十一時より開會、既に印度民間代表が產業部門全般の利益を調和した具体案を印度政廳に提出した關係上、同代表部から具體的對案が提出されるものと期待されてゐたが、豫期に反して印度代表は具體案を提示せず、第六次會商は引續き

一、雜貨類に關する日本品の競爭を除去
一、日本綿製品輸入割當量と日本紡績業の印棉買付量確定

右の案につき協議を遂げ、雜貨問題の詳細に就ては日印兩國代表部で專門委員會に委囑し技術的研究を遂げさせることに意見一致した委員は十二日より附託事項につき協議を遂げ日印兩國委員の成案を得た後更に双方協議を遂げ本會議に報告することになつた、印棉買付量確定問題に就ては印度代表部は從來の主張を緩和して買付最低量の補償を要求せず單に日本綿製品の輸入割當量と印棉買付とを關聯させると云ふ妥協案を提出した然し日印兩國の代表の見解は容易に一致を見るに至らなかつた次回は十七日開會される

日英當業者會商を先にし 然る後日印會商

印度當業者側の作戰

〔シムラ十二日發國通〕十一日の日英當業者會議に於てイギリス側が會議の進行に關する覺書を提出する事となつて居り、停頓の日印當業者會議に光明を與へるかと期待されて居たが、十一日夜英國側より日本側に提供された覺書によると三國間に意見一致した點を基礎とし、今後話を進める程度いとの程度であつた、然し二三日中に日英當業者會議丈けは再開されやうと言はれて居るが、日印當業者會議の方は目下の所殆んど再開の見込無く、印度の意向では日英會商丈け先づやらせて置き其間に印度當業者代表は一旦ボムベイに引揚げ充分調査の上改めてニユーデリーで日印當業者會議を開くとの意見ある模樣である

日印會商の 我專門委員決定

〔シムラ十二日發國通〕我代表部は專門委員會委員として左の三氏を選任した

大使館一等書記官　松島鹿夫
商務書記官兼領事　原明治郎
商工事務官　橋井眞

谷參事官 近く上京

北滿視察を了へ十一日歸任した谷大使館參事官は近く更に間島熱河方面視察の上本月末若くは來月早々歸朝に決定した、谷參事官の上京は廣田外相に對し大使館管下情況報告の外廣田外相が五相會議に披瀝せる廣田外交の政策整調に關し北鐵問題、滿ソ水路協定國境確立問題及日滿ソ三國共同委員會等の諸重要問題にも言及し或種の進言を齎すものと觀られ、同氏の歸朝は各方面より多大の注目を拂はれて居る

大同學院第二回卒業式 盛大に擧行

滿洲國中堅官吏として活躍すべき輝かしい將來を約束された大同學院第二期生百九名の卒業式は本日午前十時より來賓小磯參謀長、谷參事官、滿司法部總長林最高法院長其他多數參列の下に同學院講堂で盛大に擧行された、定刻十時多々良事務官の開會の辭に續き一同滿洲國々歌を合唱し學院長遠藤總務廳長より卒業證書の授與並びに訓示が爲された、次で來賓側より小磯參謀長立つて菱刈軍司令官の祝辭を代讀し終るや學生を代表して村井矢之助君答辭を述べ一同寮歌を合唱して十一時二十分茲に意義深き第二回卒業式を終つた

重要地六個所に 農業倉庫設置

所要經費百五十萬圓計上 江省の農民匡救辦法

〔奉天十三日發國通〕當地入電に依れば黑龍江省實業廳に於ては一般農民の意見を聽取したる後

一、仲買機關の存在による利益搾取の除去
一、不公平なる取引の撤廢
一、農產物の統制、金融の圓滿
一、農事關係の全般的改良

等の見地より資本金百五十萬圓を計上して克山、海倫、北安鎭、チチハル、ハイラル、綏化の六ケ所に農業倉庫を設立する事になり既に各方面との諒解が成立してゐる

自衛移民の家族

十三日午前七時、拓務省自衛移民の家族二十四名は、燃ゆるが如き希望を滿載して新京驛に到着、驛頭に出迎へた拓務省員や、日滿兩國關係者、關東軍移民部員と共に待合室に於て、諸般の注意や激勵の辭を受けたが、一行は

移民團員　七名
その妻　七名
家族十名（中七名子供）

で、長らくの間別れてゐた夫と共に、北滿の野に働ける嬉びを隱し切れず、驛前から新京市街を眺めて燥いでゐたが午前八時四十分發北鐵例車で一路哈爾賓に向つた

日本醫學の見學に

ブラジル大學生視察團來朝

〔東京十二日發國通〕ブラジルハンブロの醫科大學では內科部長のサンザ、カルパス博士が團長となつて、同醫科大學生二十名を選拔して十一月末より二月に至る寒中休暇を利用して三、四週間の豫定で日本を見學し、歸國後日本醫學に關する論文を來春の卒業論文とする筈である、一行は十一月二十二日リオデジヤネイロ出帆の大阪商船モンテ、ビデオ丸で來朝する

武林前郵便課長 十五日赴任

新京郵便局郵便課長武林勉氏は大連西廣場郵便局長に榮轉轉任挨拶のため十三日本社來訪、氏は十五日午後四時三十分發列車で赴任の由

けふ第三回 民團懇話會

第三回民團懇話會は十四日午前十時から海軍公館に於て開催されるが、小磯參謀長以下特務部員出席、民團代表者と懇話する

材木商組合の 會見申込みを拒絕

大同林業問題は尙審議中

八日の全滿材木組合大會の決議に依り詮衡せられた大同林業公司成立反對陳情委員彼末氏外九名は引續き大使館を通じ特務部に公式會見の上其眞意表明方を要求したが特務部としては大同林業公司に對する生產、販賣統制權の附與の件は勿論內容に就ても未だ審議中であり定款さへ作製に至つて居らぬとの理由で右會見を拒絕したので委員は協議の結果この上は當局の態度を靜觀することになり本月末再度委員會を開き今後の方針を議することになつた

學術調査團 解散

熱河、蒙古の奧地を探險して歸來した德永博士一行の、滿蒙學術調査團の一行は、十三日午前八時から新京神社の社前に於て嚴かに解團式を行つた

故久泉參事の葬儀 盛大に執行

去る四日黑龍江省木蘭縣で匪賊の狙彈のため名譽の戰死を遂げた參事故久泉峰式の追悼會が民政部主催で十三日午後四時から室町小學校講堂で催された、會場は民政部、司法部、實業部各總長、民政部警務司長、衛生司長、吉林省興安總署各總務廳長、金新京特別市長其の他から贈られた花輪で埋められ盛大裡に五時終了した、なほ氏は同文書院出身の三十三才前途を託された俊才であつた

在外同胞救濟の思召から 御補助金御下賜

〔東京十三日發國通〕天皇皇后兩陛下には今度米國サンフランシスコに於ける日本人救世軍の社會事業を聽召され在外同胞救濟の畏き思召から十三日御補助金として金一封御下賜の御沙汰あり目下歸朝中の指揮官救世軍少將小林氏は午前十一時宮內省に出頭湯淺宮相より拜授した

四平街 伊通方面の水田有望

四平街市場大街居住の茶谷榮治郎氏は事變後四洮線三江口及伊通縣赫爾蘇に於て奧地よりの避難鮮人を使用し約三百餘天地の水田を經營してゐるが從來は匪賊橫行の爲め其の成績思はしからず今や治安も漸次恢復され將來水田事業の有望なるを見極め該地方の水田經營擴張を計畫し先づ伊通縣赫爾蘇地方の候補地を今秋收穫終了を待ち直に開拓に着手來年度に於ては六、七百天地に擴張引續き鮮人を以て耕

高文合格 朝鮮人

〔東京電報〕高等文官行政科試驗合格者中朝鮮人左の如し

林憲平　李尚翼　李榮泰　文錫虎　高秉國　鄭用信　崔周永　崔夏永　金時明　金揮德　晉炎鐘　徐承杓　金禮鎔

傷病兵來京

十三日午後三時二十五分新京驛着上り列車で哈市から傷病兵十六名來京、新京衛戍病院へ轉療した

警察女給さんの 懇談會 安東の催

天氣と氣溫

十三日の氣溫最高十七度八、最低一度八

しるこや 三好野開店

……さん、そば等甘黨をよろこばす專門の店「三好野」を開店すべく着々準備中であつたがこの程全く整ふたので愈よ來る十五日を期して花々しく店開きをすると、尙ほ電話は二七一一番が開通した

全滿學生層に働きかけた 吉林の共產黨一味
同地憲兵隊不眠不休の活動で 未然に悉く檢擧
昨日解禁

大滿洲國の倒潰を企て全滿主要都市の男女中等學校生徒並に教諭を混へた中國共產黨吉林特支部員の暗中飛躍中端なくも吉林憲兵分隊が探知し氷野分隊長以下全員總動員で二ケ月の長期間全く文字通の不眠不休で暗夜河中に又は山林に足を入れ彼等黨員の集合地を突止め遂に中國共產黨吉林特支部の全貌を暴露し且つ根こそぎに逮捕した、以來同事件は滿洲國人に對し一大衝動をあたへるため發表を禁止されてゐたが同隊の取調の結果事件は明瞭となり一味は有罪と決定したため十三日記事解禁となつた、事件の概要は左の如くである

事件の端緒と 檢擧にいたる苦心

昭和八年三月中旬吉林驛構內並吉林省立第一中學校々庭同女子中學校前及同市內各要所に抗日反滿の宣傳文を「貼布」せしものあるを聞知せるを以て吉林憲兵隊は全職員の非常召集を行ひ捜査を開始し晝夜の別なく密行又は檢束見張りを實行すると共に一方滿洲國側警察機關及吉林吉敦警務團を指導督勵し不眠不休約二ケ月に亘り共產黨員捜査中の處偶々五月六日午後八時頃吉林省城小東門裡附近警戒中滿洲國一警士は擧動不審の滿洲人青年二名を發見取調べたる處吉林省立第一中學校生徒にして吉林における共產黨に關係ありとの端緒を得たるを以て吉林省警務廳は直に吉林憲兵隊に移牒せり、茲に於て吉林憲兵隊は再度緊張し同青年を七日夜全力を傾注嚴重取調べの結果前記二名は中國共產黨吉林特支部、宣傳員吉林省立第一中學校三年級金景同二年級郭連効なること「判明」せるを以て直に同夜八時を期し憲兵隊は長野隊長を先頭に同第一中學校寄宿舍の家宅捜索を爲したる處共產黨關係の證據物件並に關係者十五名を逮捕の上引上げたりその後吉林憲兵隊に引致連日連夜嚴重取調べの結果逐次連累者の所在を探知し憲兵は或時は水中に入り、或時は暗夜山林地帶を密行し逮捕せるもの五月二十七日迄計二十三名に達せり尚吉林共產黨の起原に付更に左の通り判明せり、昭和六年(月日不詳)奉天より劉某赴吉し省立第一中學々生鄧曉村の紹介に依り同校三年級常家樁は吉林省城巴虎門外某の家屋に於て前記劉某に面會し其際現下に於ける世界の大勢に付き語り合ひ次で共產主義政權の「樹立」を力說し吉林に之が支部の設置を要望せられ爾來專ら社會學の研究をなし居たる折柄昭和六年十月頃奉天より劉某は再び赴吉中國共產主義青年團を組織し吉林省城男女各中等學校に宣傳し之が實行に着手せるものなり、又中國共產黨吉林支部の組織狀況別紙の通りにして吉林に於る共產黨支部の維持は會員組織にして會費として一人一ケ月一角其他は篤志の寄附と磐石共產黨支部より一ケ月十元の補助に依り會の維持費となしありたり

犯人の氏名

而して共產黨關係者として檢擧されたる者の月日住所氏名次の如し

五月六日逮捕
吉林省伊通縣城南箭亭子　吉林省立第一中學校寄宿舍　吉林共產黨特支部宣傳委員　金景(當十九年)
奉天省興城縣舊門常家屯　吉林省立第一中學校寄宿舍　吉林共產黨青年團組織部員　常家樁(當二十一年)
吉林省永吉縣五區岔路　吉林省立第一中學校寄宿舍　吉林共產黨第一中學校宣傳員　呂紋(當二十七年)
同　吉林省德惠縣敦家屯街　吉林省立第一中學校寄宿舍　(學生)敦連郊(當十七年)
同　吉林省西關泡子胡同六號　吉林省立第一師範學校寄宿舍　第一師範學校組織部員　張春桑(二〇年)
同　吉林省永吉縣第九區團山子　吉林省立第一師範學校寄宿舍　第一師範學校宣傳委員　王誠忠(二三年)
同　吉林省城東關盆路口周家菜園　吉林省立第一中學校　吉林特支部組織委員　馮毓生(二三年)
五月七日逮捕　吉林省樺梗縣城內東頭　吉林省立第一中學校　學生　張嘉珍(一八年)
同　吉林省伊通縣第一區鄭家屯　吉林省立第一師範學校　學生　張其義(一九年)
同　吉林省永吉縣第五區岔路河　吉林省第一中學校　學生　于漳(二四年)
同　吉林省遼陽縣西南腰馬圈子　吉林省立第一中學校　學生　王家祥(一八年)
同　吉林省長春縣五區西三道街　吉林省立第一中學校　學生　于文(二一年)
同　吉省双陽縣第一區商會　吉林省立第一中學校　學生　張芳運(二三年)
同　吉林省城西關五區二條泡子胡　吉林省立第一中學校　學生　孟廣忠(一九年)
同　吉林省樺樹縣第三區東北小黑林子屯　吉林毓文中學校　敎諭　周以佐(二五年)
五月二十一日逮捕　吉林省城外三區大除吉康胡　同上　白米商張憲文(三二年)
同　直隸省寧京縣紫中店
吉林省城省第二區福綏街門牌　水商　馬雪成(二八年)
同　吉林省城內山神廟胡同門　學生　王芳(一九年)
五月二十四日逮捕
吉林省樺樹縣城大平川　吉林省立女子師範學校　學生　于慕蒐(一八年)
同　奉天省綏中縣　吉林省立女子師範學校　學生　張嘉敏(一九年)
同　吉林省双河鎮河西　吉林省立女子師範學校　學生　朱秀文(二〇年)
五月二十七日逮捕　吉林省和龍縣東街　省立女子師範學校　學生　董玉秀(一九年)
同　吉林省城西關五區小神廟胡　省立女子師範學校　學生　畢秀全(二〇年)

殊勳の檢擧者氏名

永野隊長　平井曹長　小出曹長　近藤軍曹　小林軍曹　橫山軍曹　宮川伍長　大野上等兵　石井上等兵　本間上等兵　上見上等兵　川本上等兵　丸崎上等兵　加藤上等兵　北野上等兵　山崎上等兵　其他

兵士ホーム慰問團から
第八信　(十月七日)

朝陽から又トラックで驛まで送られ今度は久し振りで汽車で北營子で乘換、北票へ行き警備隊、憲兵隊、警察に行き皆樣に大變嬉ばれました、各隊共カボニール(彈丸よけ)は頑丈に出來てゐます、殊に步哨に立たれる處には必ず置くのださうです何んだか心强い氣が致します

北票から錦州までも時々銃聲がするさうです匪賊はまだ全滅してゐないさうです明日(八日)林西と云ふ處に澤山討伐に行かれるさうです朝陽では石本灌四郎さんのお墓に參りました戰死者のお墓には必ず參拜致します

錦州に八時二十分着こゝで一泊の豫定今日は錦州で一日各隊を御慰問致します今日飛行隊の格納庫落成式で運動會があるさうです餘興もあるので兵隊さんは大嬉びです

慰問は各地共眞實の親に會つた樣だとの感激で、涙から涙の慰問でございます五名共大元氣、明日(八日)午前六時山海關に參ります

新京兵士ホーム　赤木常磐

先生や兒童もこれから放送
一週三日は新京放送局から 殘り四日は奉天から

九月一日から電信電話株式會社に統一された新京放送局ではいよいよ事業擴張につとめてゐるが先月廿四日から初めての試みとして午後五時から五時半に亘る子供の時間を設けて特に子供達の好きな童話や唱歌などを放送してゐるが十日各小學校長を放送局に招き對策、諒解を求めた、その結果各學校から數人の委員を出し委員の方で每週行はれる敎師、兒童の放送順などを定めて適宜放送をなすこととなつた、每週日、火、金の三日を新京の放送日とし殘りの四日は奉天から放送する樣になつた水曜日の一日が滿洲國側の小學校の放送日としてゐる

執政にフィルムを獻上
新興滿洲國大觀製作爲る

國務院總務廳情報處に於ては今春三月以來建國周年紀念中央委員會の事業を繼承して滿洲國の實情を內外に紹介すべき「新興滿洲國の全貌」の完成に盡力中であつたが此程全部完成し英佛獨伊及西班牙語各版は日本外務省を經て夫々發送を了したので此事業を完了することとなり東京に於て入念に仕上げを終へた滿文版全五卷を執政に獻上することとなり十三日たいさる並に筋書五十部を附して寶府中令を通じて執政に獻上の手續をとつた因みに右映畫フィルムの製作數量並に配付先は左の如くである

◎滿文版(全五卷)　八本
執政府　一本
情報處　七本
中五本は文敎部協和會の手で目下各地巡回中
◎日本版(全五卷)　三本
駐日公使館　三本
◎外國版(全三卷サウンド版)
英國　一本
米國　四本
佛國　三本
獨逸　一本
伊國　一本
西班牙　二本
以上合計　九十一卷　二十三本

公約を重んじ 佐藤委員のご勉强
新京驛の馬車問題などで 高澤驛長を訪ふ

新京地方委員佐藤宇治太郎氏はさる地方委員選擧に際して一般市民に公約した新京驛前の荷馬車通行客馬車問題などについて十二日高澤驛長を訪問、いろいろ懇談するところあつた荷馬車の通行取締については既に去る十日から取締規則が嚴重實施され、今のところその成行を見るよりほかないが、客馬車の問題については組合加入のものは驛出口に待機出來るも、組合加入外のものは立入ることが出來ないため新來者は勿論、新京人も極めて不便を感じてゐることを述べ、これが至急考慮を促すところあり、これに對し高澤驛長からいろいろ現狀についての說明があり、今後出來得るかぎり出入者の便宜をはかることとしたが佐藤氏がわざわざ立候補にしての公約を重んじ熱心に市民のため努力してゐることは一般から多大の好感を以て迎へられることであらう

東本願寺で 素晴らしい本堂新築
經費卅萬圓、二ケ年計畫で 來春から愈よ着手

大谷派本願寺では事變以來、その中心を大連から新京に移し、宮谷師が監督として駐在最近滿洲各地に布敎所を新設するなど開敎に努めることになつたが、現在曙町の同寺院は規模極めて小さく狹くこれが「新築」を要望されてゐたところ、此際思ひ切つて素晴らしい新築をなすことに決定、さきに國都建設局から軍司令部附近、大同自治會館南裏手に敷地三千六百五十坪の貸下を受け、いよいよ來春解氷期を待つて本堂の新築に着手することになつた、右本堂は間口十五間、奥行二十五間、京都の東本願寺に則つた堂々たるもので、二ケ年計畫を以て再來年秋には出來上る豫定でその經費三十萬圓のうち二十萬圓は「本山」より支出し殘り十萬圓は一般信徒の寄附に俟つこととなつてゐる、第一期計畫としてはまづ本堂を完成し引續き庫裡その他に着手すべく更に佛敎會館、慈惠病院なども新築すべく計畫してゐる

日蓮聖人を憶ふ(下)
海軍中將　佐藤皐藏

此等の點よりして余は敢て日蓮聖人を現代の日本に生まれしめ僧侶以外の業務に當らしめたならば如何であつたかを想像して見たい

思想敎育家であつたならば彼は非常に有力なる敎育家であつたらう、彼は猛烈に近代の危險思想を折伏したであらうしかも彼は彼の時代に永く佛敎內の他宗を折伏したよりも更に一く猛烈なる折伏を加へたであらう浮華放縱の風俗を嚴戒したであらう今日では政府としても北條時代における如く彼に妨害を加へる譯もないから、彼は思ふ存分に作動し得て堅實なる思想を鼓吹すると同時に完膚なきまでに危險思想を折伏し殆んど之を撲滅し得たであらう。又之と同時に良風美俗を回復し得たであらう

政治家であつたならば大に現今の腐敗墮落したる政界を廓淸し得たであらう、昔日ウヰリヤムピット一人の力を以て英國政界の腐敗を廓淸し得たことがあるが聖人をして今日政治家として局に當らしめたならば彼は確かにピット以上のことを成し遂げたであらう、

其他實業家としても勞働者としても何事に當らしめても彼は人の成す能はざる偉業を成し遂げたであらう

然るに今日は頭や手足で働く人は相當にあるも頭や手足の働きと同時に腹のしつかりした人は甚だ少い。要するに人物拂底の時代である、何とかして日蓮聖人を地下より呼び戾したい、しかしそれは不可能なることと故今日の人のなすべきことは日蓮聖人を目標としその思想信念生活態度を目標とし之に向つて邁進することである、そこに日本の柱、日本の眼目、日本の大船は實現される、そしてそのまゝが卽、世界の柱、世界の眼目、世界の大船としての意義を生ずるのであるゝ國を擧げ世を擧げて人柱を要するの秋、日蓮聖人を憶ふの情甚だ切なるものがある

朝鮮水產デー
一週間延期さる

十五日試食會を開いて十六、七兩日大卽賣會を開く筈であつた朝鮮水產會では、山縣副會長、中村理事以下十五名來京準備を進めてゐたが、十三日鮮が貨車二台到着したのみで、他の出品物や、映畫會の土產品は既に發送せるも、運送店の手違ひと、安東稅關檢疫のため會期までの到着不可能となり、一週間延期した

斷然多い
新京の傳染病

奉天、新京は人口の多いためでもあらうがこの兩都市は滿鐵沿線の他の都市より傳染病發生數が著しく多い、十月二日から八日に到る一週間の傳染病發生數を比較すれば次の通りである

	赤痢	腸チフス	パラチフス
瓦房店	二		
大石橋	二		
營口	一	一	
鞍山	八	一	一
奉天	八	八	
鐵嶺	一	一	
開原	一		
四平街	三		
新京	大	五	一

特別市の
ペスト豫防

滿洲國特別市政公署で去る十一の兩日に亘つて城內龍春舞臺に於て左記によりペスト豫防大會を開催した
一、今年度のペスト流行狀況(張衛生科長)
一、ペストの原因病狀並傳染經路(民政部衛生司溫乃郎)
一、ペスト豫防及治療方法(民政部趙恩琛)

古川カップ 爭奪戰
營業對庶務

新京鐵道事務所では各係の古川カップ爭奪野球大會の本年度決勝戰營業係對庶務係の一戰を十三日午後三時半より西公園球場に於て行つたが營業チームの意氣物凄く每回每に庶務チームは壓倒され勝ちであつた

好力堡の患者 眞正ペストと決定

【奉天十三日發國通】洮南々方好力堡に過日發生せるペスト樣の患者に就ては其後四平街檢疫所に於て同患者より採取せる材料に就き銳意檢疫中であつたが十一日に至り眞正ペストと判明した

新京驛の出札孃
十五日から實務に

新京驛では既報の如し旅客に柔かい好感を與へるべく旅客サービスの一端として一番多く旅客に接する出札係を女事務員にかへるべくさきに八名の事務員を採用見習として實務につき目下盛んにコーチを受けてゐるがいよいよ十五日でこれを打切り一人前の事務員として御目見得する事となつた

火事騷ぎ
鼠の惡戲から きのふ寶山燐寸工場で

鼠の惡戲からこれはまたとんだ火事さわぎ——十三日午後一時四十五分ごろ市內八島通寶山燐寸會社倉庫から出火したが大事にいたらず鎭火した同倉庫は火氣並に人氣がないため押寄せた社員、警察では不審を抱き出火原因に就き嚴重調査を行つた處出火附近に鼠が巢を喰ひ、マツチ抽木並に黃燐を咬み散らしてゐるを發見した同影跡から推察して鼠の齒で咬みしめ發火したことが判明した、損害七十圓である

映畫だより
曉の偵察

十六日から長春座で高級映畫鑑賞會が紹介するファストナショナル超特作空中戰映畫「曉の偵察」を見たものゝ評に曰く空中映畫としては空前の物である、その劇的の力に於て、娛樂的價値において、迫眞力の大きさに於て我々はいまだ嘗てこれに匹敵し得る空中映畫ありしを知らぬ、原作は「つばさ」のジョンワンダース、題材がいゝ、命令のために若い飛行士達をムザムザ、死の飛行に立たせねばならぬ上官の苦心を縱に壯烈な空中戰と友情を橫に織り交ぜた物語はドラマとして「つばさ」に優る事幾々もちろん「西部戰線」程度のイデオロギーすらも有してゐないことは此際問題外に置いて恐るべきは脚色監督のハワードホークスの努力だ終始たゆまざる緊張の連續、サスペンスとクライマックスの巧みなる盛り上げ、具体的には轟然たる飛行機の爆音に、靜けさそのものゝ如き時計のチクタクの音を連絡させるトーキー的構成の心にくさ、名技師ヨホーラドとの協調による空中での數百場面と敵軍々需品倉庫を單機爆擊する日の驚くべきトリックの妙、セツトの大、また純然たる「女なし」のキャストも注目に値する全く女優の存在を知らぬ如く始終力强い、太い線でもつて全卷を蔽ふてゐる

松葉號賣出し

雜貨商松葉號では十五日から十七日まで祝町太子堂に於て毛物、シャツ、靴下等の大賣出しを行ふ

吉凶禍福

▲日本橋通り七十八番地岡田茂太郎氏六女弘子さん、四日午前四時二十分出生
▲露月町三丁目六十二號の三森タツさん、十一日午後二時四十分死亡
▲吉野町二丁目十六番地平塚三郎さん十二日午後三時死亡
▲吉林省德門守備隊本部勤務後藤庫一氏長男華輔さん五日出生
▲新京露月町二丁目三十四滿鐵社員阿部榮次郎長男裕行さん二日出生

コドモノクニ

全く近頃にない美事な放送
やんや打てはやされた中村さんの童話（二）

或る寒い／＼晩お父さんいつもの様に、夕方から工事場の夜番に出かけて行きました

それから三四時間の後―もうボーニャ君もお母さんも、床に這入つてゐましたが―ドン／＼／＼と入り口を叩いて

「オオイ明けて呉れー」

と呼ぶ者がゐます、どうしたのだらうと思つて、出て見ると、入り口の所に、お父さんの夜番のお友達が、まつ白いホータイで顔や、手や足をグル／＼巻いた人間を抱へて立つてゐます

「あお父さん、ケガしたなつ」

と叫つて大急ぎで戸を開けました

「奥さん、困つた事しでかしました。氷に滑つて、大ケガしました。切り石に顔をぶつつけ、歯をめちや／＼に折つて氣を失つてゐましたよ、何しろ、私達が見つけた時は、もうすつかり凍へ死にしてゐましたよ、皆で一生懸命、手當してやつと息丈けは吹き返しましたがまだ／＼あぶないから、御大事に」

と言つて歸つて仕舞ひました

それから大變高い熱が、何日も何日も續いて、お父さんは何にも分りません

元々、御金も何もないボーニャ君のお家でせう、大事な／＼御父さんが病氣になつたので、すつかり困つて仕舞ひました

お金がないからと言つて、何も食べずに居る譯にも行きませんでせう、大變寒い冬のことですから、石炭を焚かずに居る事も出來ませんでせう、お醫者にもかゝらねばなりません、お藥も買つて差上げねばなりません

お母さんは、お金がない事を病人に言つたら、お病氣が、またひどくなると思ひましたから、一口もそんな事申しません

何も知らぬ子供に餘計な心配させてはと思つて、ボーニャ君にも何ともおつしやいません、只自分一人で大變心配してゐました

「そう／＼、私のお嫁入りの時の指環があつたつけ、あれもう嵌める様な事もあるまいから、あれをお金に替へませう」

お母さんは大變大事にしてゐた指環を賣つて、お金にしましたが、そのお金も、すぐなくなつて仕舞ひました

「そう／＼頸飾りもあつたつけ、もう、あれも、私なくてもいゝわ」

お母さんは、そう言つて、又大事な片身の頸飾りを賣つていくらかのお金に換へましたでもそれもすぐなくなつて仕舞ひました

仕方ないのでお母さんは、耳飾り、ブローチ、時計と、いろんな物を賣つてお父さんの病氣が早くよくなる様にと、一生懸命に祈り乍ら看護してゐましたが仲々よくなりません

三月になりました、まだなをりません

四月になりました、まだなをりません

とう／＼五月になりました、木の芽や草が、出かけました

今まで家の中にばつかり引つこんで居た新京の人達は大喜びで家の外へ外へと出かけます、方々のテニスコートではボーン／＼とボールの音が聞こえます西公園ではボートが浮びます

池の上のグランドでは時々野球の試合がありました

人は縣人會だ、野遊會だとお騒ぎしてゐるのに、ボーニャ君のお父さんは少しもよくなりません、もうお母さんは何も賣るものがなくなつてしまいました、新京は家賃が高いので、ボーニャ君のお家はとう／＼寛城子の僻の所に少さいお家を見つけて越しました、ボーニャ君のお家では、朝飯が、一日一日とおいしいものが少くなります、おしまいには、段々分量が少くなつて行きました

それでもボーニャ君はお母さんの御心持がよく分つてゐましたので、何とも我儘を言ひません

それぱかりではありません、お靴が段々いたんで底革が破れてきても、ボーニャ君は新しい靴のおねだりをしませんでした

「ボーニャ君、君の靴は改良靴だね」

「どうして？」

「だつて、これならもう破れる心配ないよ」

お友達がからかひます、底皮がなくなつて仕舞つてゐるので、もうこれ以上破れる心配ないと言ふんです、それでもボーニャ君は、何も言はずに笑つてゐました

本社主催 煖房展迫る
各ストーブの優劣
それ／″＼販賣店の主張（二）

新興滿洲國を目指してストーブの進出は夥しき數で新京のみでも數十種に及び優劣交々中には不良品が無いとも斷言出來ず需要者に於ては大に研究すべきであら零下三十度以上も下る當地では冬營準備たるストーブ類煖房こそ充分吟味せねばならぬ、我社主催第二回煖房具展も詳細なる實驗、販賣業者より直接に説明あるは元より十二分の選擇を得る質的明品揃の多數種を一堂に集め販賣需要兩者の好目的を達成せしめるに外ならず左に各ストーブの優秀を紹介する事にする

再度天覽の光榮 ハッピーストーブ
北滿配給所 大本商行

ハッピーストーブは創業明治二十五年以來スタンレー・ジエヴンス氏の石炭問題に就て深く關心し一意煖房報國を目指して今日に至れるストーブ界の重鎭白神鑄造所の完成品にして斯界唯一の製作工場として昭和四年六月二十七日と昭和七年十月十六日の再度御高覽の光榮を賜りたるを以てしても如何にハッピーストーブが優秀であるかは言を俟たない所だと云ふ尙日本建築協會より……住み佳い家……の諸條件に適ふたる斯界の逸品として推奬され感謝狀を頂いて居る大本商行は從來數年間ニツトーストーブを販賣して相當人氣を得經驗を經たので今回滿洲方面に此のハッピーストーブの進出を促し滿鐵理學試驗所に於て御試驗を經たる結果一時間一斑の石炭にて攝氏二十四度八分を八時間五十五分持續するの最高成績を得たので一層大馬力をかけて販賣する事になつたので實物は當日會場及び同店の日本橋通り及梅ケ枝町二丁目の陳列所に於て詳細説明し御批評の上御買上げを願ふ考へである

尙幹店はニツトーストーブも引續き本年も販賣してゐる

恒六ストーブ
滿洲總代理店 福昌公司

滿洲國創設と同時に煖房具の進出將に多數で需要家も如何なる式構造の物を選擇すべきや全く迷ふのも道理である我が恒六ストーブは貯炭式ストーブの元祖にして以來幾多の改善發明を加へて今日に及び炊事兼用ストーブとして又煖を得て特に滿洲に適し實用向ストーブとして好評を博して居る燃燒裝置はストーブの心臟とも言ふべき箇所で放熱の强弱石炭の消費量は此の裝置一つによるのであります恒六ストーブは中央の山形ロストルを裝置してありますから如何なる粗惡の石炭でも完全に燃燒され放熱の强大の事は本品のに右に出るものはありません殊て燃燒中は絶對に煙の出る事無く煙突に油煙も溜らず一冬を通じて掃除の必要ありません、尙特許給炭裝置合理的火力調節裝置優美堅牢の點目なし一本鑄造等は他に比類無きものでストーブとしての好條件を具備し北滿好適冬營煖房具として好評を博し居る所以である

海の外から

口移動式店舗
米國小都市に最近進出、目下人氣を煽り立つてゐる街の呼び賣り屋は移動式店舗に依つて好奇の顧客を吸收してゐるが、品物は季節向きのものを販賣し、屋台は派手な色彩で裝飾し中にはラヂオを据えてゐるものさへあるといふ嶄新振り

口獨乙の司令塔付遊覽車
最近米獨乙に顔出しした同國特有の遊覽車はディゼール、エンジンを連結、時速七十哩以上の快速力で疾走する上、客車屋根には司令塔様式の沿道風景を見物する特別室を設備してあるため觀光客の歡心を迎えて此の所大人氣を博してゐると

口移動軍用ラヂオ器
米、空軍では同軍ラヂオ技師發案創作に成る飛行船連絡用の移動ラヂオ器を採用することゝなつたが、機造は簡單なゴム輪の手押車に該器を載せて所構はず移動する事が出來るので主として地上に接近して來た飛行船や離陸した許りの航空機と地上連絡を計るに使用される便利な近代式のラヂオステーションであると

口伯林町の人氣者豆自動車
獨乙伯林市街を目下右往左往してゐる豆自動車は多く子供專用の二人乘物で、動力は蓄電池に依り危險が頗る尠いため大いに市民から歡迎され街の人氣者の異名をかち得てゐる

ラヂオ欄

十四日（土曜日）新京

時刻	番組
午後五、〇〇	子供の時間（奉天より）お話　近藤喜助
同 五、三〇	ニュース（英語）
同 五、四〇	ニュース（露語）
同 五、五〇	ニュース（鮮語）
同 六、〇〇	ニュース（東京より）
同 六、二〇	語學講座（滿洲語）講師　高宮盛逸
同 六、四〇	語學講座（日本語）講師　植松金枝
同 七、〇〇	演藝（滿洲語）天順班　文　法場挨子　妹
同 七、三〇	講演（滿洲語）文敎部宗敎科　華志遠　關於孔子聖誕
同 八、〇〇	ニュース（滿洲語）
同 八、三〇	時報（東京より）
同 八、三一	ニュース（東京より）
同 八、四五	ニュース　氣象豫報、明日のプログラム豫告
同 九、〇〇	演藝　琵琶　瀬戸の渡　大竹旭紅

鮮魚小賣相場

品名	相場	品名	相場
活鯛	八五	氷鯛	三五
チヌ鯛	三五	小鯛	四七
鮪	一、三〇	ニベ	一一
ブリ	二三	ヒラス	二六
サハラ	三〇	スズキ	一三
サバ	二〇	アジ	一七
イシカレ	二一	ヒラメ	一七
ボラ	一四	コノシロ	一三
キス	四〇	イワシ	一〇
タチ	七	ハゲ	二六
ムツ	一三	アコウ	三四
サヨリ	八五	グケ	一〇
タコ	一六	水イカ	四五
イセエビ	七五	車エビ	六八
甲イカ	四三	カニ	八
ハモ	八	ナマコ	一〇
アワビ	五二	カキ	一八
ハマグリ	三	カマボコ	二〇
ヤズ	一三	サケ	三〇
ホシカレ	一七	ウナギ	六〇

田螺の黒燒で淋病が治るか

〔問〕近頃慢性淋疾が治るといふので種々の廣告が出て居ますがその内でも料理の友社代理部發賣の田螺の黒燒は信用出來そうに思ひますが如何でせうか。本當に効くものなら値段も安いので飲んで見やうかと存じますので、本當のところをお知らせ下さい（札幌市　上野新助）

〔答〕田螺は日本全國到る處にありますから誰でも黒燒を作ることが出來る筈ですが田螺はたゞ黒燒にしただけでは淋病に効くものではありません。料理の友社は食料研究のために田螺を科學的に處理してゐるうちにこれが淋病に利く成分のあるのを發見して、古來傳へられてゐる黒燒の研究に着手し、この藥効成分を失はないで黒燒を作る方法を發見したのですから、充分信用してよろしいと存じます。それに各地の實驗者が本當に喜んで禮狀をよこしてゐるのを見ますれば、如何に此の料理の友の田螺の黒燒がよく効くかゞわかります。

◆夢の様です

（略）あれだけ苦しんで何とも方法のなかつた淋病も料理の友の田螺の黒燒をのんでから僅々二三日で膿は止まり、三週間のんでから灘を呑んで見ましたが何ともなく仕事に追はれ二晝夜一睡もせず酒の力をかりて仕事をし續けましたが何等異狀ありません。何だか餘りに簡單に治つてしまつたのでまるで夢の様です、毎日愉快に暮して居ります、これも御社の御蔭と同病に苦しんでゐる人には極力これをすゝめて居ります。それから田螺は他の賣藥の様に副作用もありませんでした（旭川市三條通十四丁目　元木眞〇郎）

◆全快の喜び

私はある露壇に足を踏み入れ、娼婦の痴癡に誘はれつひに呪はしき淋病に罹つてしまひました。早速淋病專門の醫師を尋ね治療を受けましたが、排膿は少しも止まらず、そこでいろ／＼の民間藥を濫りましたが、だん／＼病氣は亢進するばかりで全く絶望の深淵に投げ込まれてしまひました。

ある醫師に相談したところ根氣よく徹底的の療法を要するとの事で、約五ケ月程通院致しました。それでも根治の見込が立たず悲嘆にくれてゐると、知人が「淋病なら田螺の黒燒で治る」と簡單に云つてのけました。「溺れるもの藁をもの心境」で田螺の黒燒を三週間求め一日三回づゝ小さじに一杯づつ食後三十分に服用しましたが、六七日しますと不思議にも尿の濁りも痛みもとれて、うすれて來ましたのでその後念のために醫師に檢尿をうけますと淋菌は絶對にないといふ事でした。

長年死ぬほど苦しんだ淋病がたつた三週間で然も實に低廉で快癒したので、私の人生は全く光明にみち、今更乍ら田螺の黒燒の効めに驚きました。私は友人にもこの喜びを話し二三人の人に服用させましたが、皆三週間で綺麗に治つてしまひました（東京多端備次郎）

黒燒製法最新發明　タニシの圖

料理の友社では多年研究の結果黒燒製法最新發明に成功して夫による黒燒を御頒ちする事にしました

料理の友特製　田螺の黒燒
一週間分　金一圓
三週間分　金二圓八十錢
德用五週間分　金四円五十錢　送料領土四十二錢

東京市小石川區カゴ町二三八
料理の友社代理部
振替東京二四三九八番

戀幻黒船往來

禁轉載上映及上演

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第百六十二回

片身（八）

チプヌイが、ユペツの宿へ白軒をたづねてきたのは、もちろん格之進の指金だつた。

いや、もと〳〵高島の板倉からつれ出したときから、格之進は、チプヌイをつかつて、白軒とお愛の仲をさかうと計略してをつたのだ。

お愛が、松前藩のために、ふたたび黒船へ戻つたとは知らず、てつきり高島で姿を隠したのは、白軒のあとを追つたものにちがひない。そして函館にふたりが潜伏してをるにちがひないと睨むだのも無理ではない。その白軒の居所が判明したうへは、一刻の猶豫もならず、手許のチプヌイを放ちてやつたのもまた、けつして不自然ではなかつた。

ところが、何も知らぬチプヌイが、たゞ戀慕ふの一途から、ユペツの宿へ来てみると、格之進の見込みはづれて、お愛はをらぬがそのかはり、やはりチプヌイにとつては、同じ戀敵のフラメが控へてゐて、遂におもひもうけぬ爭鬪が演ぜられることになつた。

ふたりのメノコは、和人の家の入口で、お互に齒をかみ鳴らし、亜麻色の髪の毛をつかみ合ひ、低くうめきながら、上になり下になりして、物すごく爭ひつづけてゐるうちに、やがて力盡きたか、望別の乙女のチプヌイは、たうとうその場に捻伏せられてしまつた。

『狼！　こン畜生奴！……』

地面へチプヌイの顔を押しつけて、フラメは、悪罵をあびせかけた。

が、押へつけられながらもチプヌイは、苦しい息の下から、戀しい男の名をよんだ。

『和人しや……松、松井しやん……』

『ま、また、いふかね……ようし……』

ぐい〳〵片手で押しつけておいて、フラメは、右手をおのれの腰間へのばして、小刀の鞘を拂つた。

それを逆手に持直し、チプヌイのほの白いうなじのあたりへもつていつた。

こゝで一思ひにチプヌイの命を絶たうとするのだつた。

フラメは、物すごく眼を血走らせながら、小刀を握る右手を振上げた途端、人ひとりをらぬはずのアイヌ小屋の離れのあたりに、突然大きな、威壓するやうな足音がした。

『フラメどの、待て！』

足音の主は叫んだ。

『え』

振かへると、背後には、いつのまに戻つてきたのか、カチウド老人が、巨きく立つてをつた。

『何をするのぢや』

『……』

『殺生は止せ』

『カチウドしやま、見逃してくだしやれ』

『いや、成らぬ』

『こ、このメノコ、フラメのかたきです』

『うむ、松井どのを、やはり戀慕ふ女か……？』

『……』

『それならば、なほのこと一應はそれなる女の述懐をもきかねばなるまい。その手を緩めてやりなさい』

『いやです』

フラメは、頑強にそれを拂ひのけた。

『いやとは、いはさぬ。離せ！』

カチウド老人は、いきなり顫手のやうな手を延べて、フラメの小刀持つ手を握つてぐいと引いた。

その力……。七十の老人とはおもはれぬ怪力に、フラメはおもはず押へつけてゐた手をゆるめた。その隙に、チプヌイは、がばとはね起きた。

と、その一瞬、面識もないはずのチプヌイの顔を一目みるなり、カチウド老人は、反射的に叫んだ。

『おゝ、そなたは！』